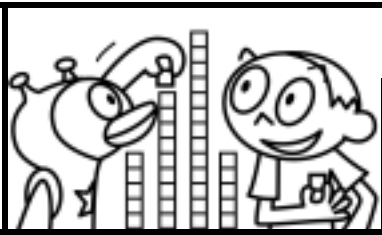


算数 学習相談		学研教育情報資料センター 小 / 算数 / 5年 / 量と測定 / 単位量あたりの大きさ / 理解シート
------------	---	--

本やあめのねだんは，どうやって^{くら}比べればいいのか



ねだんが高いか安いかは，1さつあたりのねだんや1個あたりのねだんで比べられるんだよ。



本の1さつあたりのねだんで比べましょう。

10さつで12000円の本と8さつ10000円の本では，1さつあたりのねだんは，どちらが高いですか。

◆さつ数も代金もちがうので，このままでは比べられません。

1さつあたりのねだんで比べます。1さつあたりのねだんは，
(代金)÷(さつ数)の式で求めます。

$$\begin{array}{l} 12000\text{円の本} \cdots 12000 \div 10 = 1200(\text{円}) \\ 10000\text{円の本} \cdots 10000 \div 8 = 1250(\text{円}) \end{array}$$

1さつあたりのねだんを単価たんかというんだよ。



1さつあたりのねだんが高い，8さつで10000円の本の方が高い。

15個で240円のあめと20個で300円のあめは，どちらの方が安い
ですか。1個あたりのねだんで比べなさい。

◆個数も代金もちがうので，このままでは比べられません。1個あたりの
ねだんは，(代金)÷(個数)の式で求めます。

$$\begin{array}{l} 240\text{円のあめ} \cdots 240 \div 15 = 16(\text{円}) \\ 300\text{円のあめ} \cdots 300 \div 20 = 15(\text{円}) \end{array}$$

1個あたりのねだんが安い，20個で300円のあめの方が安い。